

# 魚沼市小出郷文化会館管理業務民間委託実施計画（素案）

## 市民意見交換会 議事録

開催日 平成 27 年 3 月 30 日(月) 19:00~20:30

会 場 入広瀬生活改善センター

参加者 3 名 アドバイザー 2 名 事務局 4 名

**質問** 各地域文化祭・芸能祭について、地元の人達が主体となって行っているが、文化会館の職員が事務的な部分をしていただいていた。そこはどうか。

**回答** 市として文化行政から手を引いたわけではありません。文化会館については、民間委託をしますが、文化祭、芸能祭関係については、これまでと同じように文化協会が主体となって各地区の文化関係者と調整しながら行います。

**質問** そんなに大きく変わらないということか。今までは段取りとかやっていたところがどうか。

**回答** 文化会館が指定管理となった以降の市の文化行政に対する考え方として、生涯学習課でも同じようなことをしていますので、今後、教育委員会部局で持つのか、市長部局で持つのかということはあると思いますが、いずれは統合しなければならないかと思います。

**質問** 財団は、そういったところにはタッチしないということか。

**回答** そのとおりです。財団は、文化会館の管理と自主事業などを賄います。  
文化祭・芸能祭は、市が行うものですが、これからの課題として文化協会が自立することを考えなければいけません。各地区の文化祭・芸能祭が市の職員がいなくてできないのではなく、地域の中で実行委員会を組んで自立していただきたいところです。それを市側が手伝うという形が望ましいと思います。

**事務局** 入広瀬や守門では、文化会館に行きたいが足がないから行けないという話を聞きます。  
実際のところ自衛隊コンサートなど興味があるものには、たくさん来て頂いていますが、そのところはどうなのかお尋ねします。

もう 1 点が、文化会館の名称について、小出郷文化会館は合併で「魚沼市小出郷文化会館」と名称を変更したが、今後名称をどう考えていったらいいのかお聞かせください。

**意見** 当時はかなりもめた。現在の名前は全国的に売れているが、これを機会に変えても良いのではないか。魚沼市何とか会館のようにしていったらいいと思う。

**質問** 六日町はどうなっているのか。

**回答** 合併で六日町文化会館から「南魚沼市民会館」に名称変更しました。

**意見** 小出に居るのであれば自衛隊があれば行ってみようかとなるが、ここにいる人はあ

文化会館という感じである。

結局は足が問題であり、農協みたいにバスで迎えに来れば別だが。送りに行けば迎えにも行かなければならないので、会館までは行きづらい。

**質問** まだ小出の循環バスはあるのか。

**回答** ありますが平日の運行です。予約制のデマンドタクシーになります。

**質問** 入広瀬から文化会館に行く路線バスはあるか。

**回答** 入広瀬から小出までありますが、途中で乗り換えが必要です。

**意見** バスの本数が少ないので面倒だ。また観光バスの金額も高くなっている。

**回答** 貸切バスについては、高速バスの事故後、運転形態見直しで、料金が高額となり、なかなか便宜を図ることができないような状況です。

実施計画（素案）の中にアウトリーチがありますが、いわゆる出前で行うコンサートを積極的に行います。

平成26年度もご当地で行いましたが、結局こちらで行うと大白川の人達は、同じように来られない状況です。

**質問** 出前コンサートは、継続するのか。

**回答** 指定管理となった以降も、引き続き地域の文化を育てるという意味では、それを踏まえた仕様を作る予定でいます。

**質問** 中身に関しては、あまり大きく変わらないのか。

**回答** 変わるということから言えば、今まではクラシックが中心で特定の人が利用する部分が多かったのですが、もう少し幅広い世代の人から来ていただきたいので、市民のニーズを踏まえて内容を考えたいと思います。

**質問** なかなかいいのは来ないし、人を集められるものも来ない。いいのはほかの会館にとられている。

**回答** 他の館も苦勞しています。

文化会館は文化協会等々の事業で土、日が埋まっています。また、各会館ごとにそれぞれ事情が違います。

**質問** 確かにそれはある。長岡、新潟はいいアーティストが来ているが、なんでこっちには連れて来られないのかという意見がでたが、内容が違うからダメだろうという話をした。

**回答** 会館でテレビに出ているアーティストを呼ぶと、客席の収容人員もあり入場料が6,000円から1万円かかってしまいます。市民の皆様がそれだけのお金を払って見に来てもらえるのかという部分があります。

平成27年度は、NHKの公開放送が9月に決まっています。

また宝くじの補助を使ってお笑いも27年にやる予定です。今までのクラシック一辺倒からは、少し変わっています。

**質問** これから売れてくる人を売れる前に連れて来られればいいのか。水森かおりみたいに。

**回答** 4月、5月の演歌系公演は、別の主催者団体が貸館事業で予定しています。

**質問** 小出郷文化会館は楽屋係で慣れている人がいない、職員がよく替わってしまうからである。一流の芸能人が来て、初めての職員が対応することは難しい。アーティスト側で、「あの会館は行かないほうがいい」という話が流れると来なくなるし、「あの会館はいい」であれば集まって来る。

また、ネーミングライツという考えはあるのか。

**回答** 残念ながら、非常勤の職員が4名、継続雇用を希望せず退職しました。平成27年度は専門学校卒や舞台経験者を募集したところ、男性2名、女性2名を雇用することとなりました。

職員については、今いる職員が新しい職員に教える、新職員は研修会等で覚えてもらい、なるべく早く独り立ちさせたいと思っています。

その後は、財団法人の職員として採用されるように進めていきます。楽屋慣れについては、いきなり新人だけで担当することはできないので、仕事を見ながら習得してもらいます。

ネーミングライツについては、そういった考えもあるということで参考として上げさせていただきました。会館の名称の問題もありますし、企業メセナということで社会貢献をうまく活用できないかということですが、今はサポータズクラブを発展させた形で考えられないかと思っています。

**質問** 子ども芸能祭だったか車イスのお客様から、連絡しておいたのに専門の人がいないと言われたことがあり、連れて行ったことがあった。スタッフの配置はどうなっているのか。

**回答** ホールの表の部分は、ボランティアスタッフの皆さんからもぎりとか客席案内を担ってもらっています。それに非常勤の職員が絡むという体制で行っています。

バックヤードに関することは、職員が対応しています。その部分で間違いが無いように進めています。車イスのお客様の件については、想定が足りていなかった部分がありました。

**意見** みんなが慣れていないから仕方がない。

**回答** ボランティアスタッフは会館立ち上げの頃から協力をいただいています。新しいスタッフは慣れていないところもあります。

**質問** 指定管理になった場合、現在は月曜定休なので日曜日はチケット販売ができる。そ

れが変わるのか。

**回答** 指定管理者は、文化会館条例に沿って指定管理を受ける形となります。定休日を変える場合は、その条例を変えてからとなります。

**質問** 見附のアルカディアは、日曜日にチケットを買えなかったことがあった。

**回答** 小出郷文化会館は土、日も職員がいますのでチケット販売をしていますが、5 時過ぎの夜間当直となった時には、販売等ができません。今後、財団法人が夜間の職員配置をどのようにするかによって解消できる可能性はあります。

使用料金についても条例で定められていますので、上げるにしても条例改正が必要です。

施設の使用料については、合併当初は各旧町村の料金を継続していました。文化会館は当初近隣の会館より安く定めていました。

合併 2 年目目で施設使用料の見直しをして、統一した基準によって考えましょうということになって、公民館等はそのとき全部見直しをしています。基本的には、人件費等を除いた光熱水費、燃料費を 1/4 利用者から負担していただくことになっていました。その中で文化協会、生涯学習連絡協議会は減免という形をとりました。生涯学習連絡協議会で 1/2 の減免、子どもたちが使う時は 100%減免ということでしたが、文化会館を文化協会が使う時は 100%減免としていました。その時文化会館は料金を変えていません。それが現在まで続いています。

他の施設から比べると安く、その分利用率が伸びています。今後このままで行けるかは、検討して行きます。

キッズミュージカルとか子どもの練習で予約があっても、他の申込があった場合の優先順位を考えていますので、後からであっても変更し、使用できるよう進めています。

**意見** 文化会館は、そういったものもあって利用率は高い。

**回答** 立上げの当初は、魚沼に文化を根付かせ、地域の文化団体を育成しようという考えの中では、一つの手法であったかもしれませんが、開館して 20 年となれば、一定の種がまかれ育っていますので、いつまでも今のままでの値段でいいのか考えなければなりません。市内の他の団体とのバランスが取れていない状況です。

**質問** まだ補助金が出ている団体はあるのか。

**回答** 生涯学習連絡協議会の補助金は、活動費の補助ではなく、機関紙作成等の補助になります。文化協会の補助金は、団体で利用する場合は 3 万円を上限で出しています。

**質問** 小出郷体育館の名称はどうなっているのか。

**回答** 小出郷総合体育館でしょうか。文化会館は市内に一つしかない施設なのですが、体育館などの施設は、それぞれの地域、地域にありますので差があります。

**質問** 文化会館の名称を決めるときに、小出から反対がでなかったか。

**アドバイザー** 法定合併協議会で話が出て、小出郷文化会館の名前で行くと決めました。県外の評価も高かったし、ブランド化もしていました。この話は、どこの地域説明会でも話が出ましたが、六日町は南魚沼市に合併となったときに名称変更しました。小出郷文化会館も「クリスタルホール」という愛称をつけようという話もありましたが使用しませんでした。名称を変えることは、指定管理を受ける側はできません。設置者である市が名称を決めることとなります。

**質問** まわりの公園はどのような名称だったか。

**回答** 奥只見レクリエーション都市公園「響きの森公園」となっています。現在の管理も変わらず、むつみグループが県から請け負っていますので、野外ステージの部分だけを指定管理者に任せることとなります。

**アドバイザー** 今の文化会館がどういう位置付けになるかという、文化芸術振興モデルに該当し、県内では小出郷文化会館と長岡リリックホールだけです。見附のアルカディアは該当しません。新潟市のりゅーとぴあはその上のモデルとなっています。「住民参加型のホールを作りましょう。」ということで開館前から一生懸命行って、今があります。3年前の建議書でも「住民参加型のホールを目指すべきである。」と結論づけました。有名アーティストを呼んでの貸館だけではなく、大事なのは自主事業です。

市は平成27年度を最終目標として行財政改革を行って「文化会館も聖域では無い。」ということで途中から対象となりました。仮に平成28年4月1日から指定管理となったとして、既存職員がいなければすぐには運営できません。指定管理期間を10年としていますが、その先はわかりません。実施計画の中でもインセンティブ契約を記載していますが、赤字の場合は市が補填するとはいっていません。ただ設置者としての責任があるので丸投げはできないと考えています。よくあるパターンが、長岡みたいに市長がトップで理事者として入る。市が何らかの形で関わらなければなりません。

またアクセスの問題も出ましたが、アウトリーチというのは、文化会館の大事な事業だと考えますとアーティストと文化会館の18年の付き合いを大事にしなければなりません。市民の声を聞くのも大事ですが、アーティストの声を聞くのも大事です。実施計画は素案として出来ましたがまだまだ先は長く、館長が不在となって1年となり、なるべく早い機会に2代目館長を決めなければならない状況です。

**質問** 館長の予定はあるのか。

**回答** 市民課長が26年度に館長を受けるときは、後任の館長が決まるまでのつなぎということでしたが決まらずに1年になりました。後任を民間から選んでいただき市長が任命する方針ですが、館長が決まらないうちは、内部的に兼務辞令を出さなくてはならない状況です。

**アドバイザー** 今回は3月に入って6カ所回りましたが、他の5カ所でもいろいろな課題が

出ました。市民に愛されて利用していただきたいという夢と課題を具体的につなげていかなければなりません。